



エア・ウォーター<4088>、上場子会社でガーゼなど医療用衛生材料大手の川本産業<3604>をTOBで完全子会社化



産業ガス大手のエア・ウォーターは、関連事業として医療機器製造や医療関連サービスを手がけている。医療用衛生材料子会社の川本産業にTOB（株式公開買い付け）を実施し、全株式の取得を目指す。川本産業を取り巻く事業環境が厳しさを増す中、完全子会社化によってグループ内シナジー（相乗効果）を高める必要があると判断した。

川本産業は、メディカル事業ではコロナ禍の収束で衛生材料、感染管理製品の需要減少が予想され、もう一つの柱であるコンシューマー事業でも物流費高騰などに直面している。エア・ウォーターは現在、川本産業の株式50.1%を所有しているが、残る株式をTOB（株式公開買い付け）を通じて取得する。

買付価格は1株につき1200円。TOB公表前日の終値881円に36.21%のプレミアムを加えた。買付予定数は289万1920株。下限は所有割合16.57%にあたる96万100株。買付代金は最大約34億7000万円。

買付期間は2月10日～4月3日の36営業日。決済の開始日は4月9日。公開買付代理人はSMBC日興証券。

川本産業はTOBに賛同し、株主に応募を推奨することを決めた。TOBが成立すれば、同社の東証スタンダード市場への上場は廃止となる。

川本産業は1914年に医療・衛生材料製造を目的に創業した後、1931年に川本新之助商店として設立。川本繻帯材料への社名変更を経て1996年に現在の川本産業に改めた。

2001年に大証2部に上場。2003年には東証2部に上場した（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。エア・ウォーターは2016年にTOBで50.1%を取得し、同社を子会社化していた。